

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 桜町区

日 時 平成 21 年 2 月 5 日(木) 19:00 ~ 20:40

場 所 桜町公民館

出席者 (市 民) 22 人

(執行部) 12 人

井上市長、平島副市長、關教育長、石橋総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松永健康福祉部長、
木村建設経済部長、松田教育部長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、
大藪協働のまち推進課長、

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- | | | |
|---|----------------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ (経営企画課長) | 19:00 ~ |
| 2 | 区長あいさつ (区長) | 19:01 ~ |
| 3 | 市長あいさつ (市長) | 19:02 ~ |
| 4 | 市職員自己紹介 (経営企画課長) | 19:11 ~ |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:13 ~ |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換 (経営企画課長)
(別紙) | 19:35 ~ |
| 7 | 閉会あいさつ (副市長) | 20:39 ~ 20:40 |

	質問・意見等	回 答
意見 1	<p>区長制度の見直しについて</p> <p>数年前からコミュニティ制度について頻繁に言われ始めた。行政区制度を廃止し、自治会に変更し、小学校区ごとの自治協議会が作られる話が、昨年10月28日の区長協議会で初めて知らされた。また市民全体への周知は、広報の2月号であった。1960年以来50年継続した制度がどうだったのかが今の説明で全く触れられていない。何故今自治会、自治会長制度なのかははっきりしない。</p>	<p>(市長)</p> <p>[画面説明]</p> <p>平成13年度から22年度までの10年間の第4次の太宰府市の総合計画がございます。その前3年間で百人委員会を作り纏め上げたものです。また18年には後期基本計画のダイジェスト版を配布しました。</p> <p>三つの戦略推進プロジェクト</p> <p>歴史とみどり豊かな文化のまち</p> <p>「まるごと博物館」推進プロジェクト</p> <p>「地域コミュニティづくり」推進プロジェクト</p> <p>福祉でまちづくり」推進プロジェクト</p> <p>のまちづくりを行っていくとしています。</p> <p>これらの具現化のために、平成15年に担当部長を置いて、地域コミュニティづくりに着手しました。</p> <p>今までの行政区のあり方を根本的に変えることには摩擦熱があります。区が無くなるのではといった懸念があるのではと思います。そういったことはまずありません。何もかわりません。</p> <p>今以上に桜町区の住民の方が区のまちづくりに参画できる機会を多くするもので、そのためのシステムづくりが必要です。行政に置いても、以前は通達行政が主流でした。</p> <p>全国統一した行政を行うためには、必要な面もありましたが、平成12年地方分権法により地方のことは地方でという機運が高まりました。現在は職員の創意工夫ができるようになっております。このような取り組みが平成13年から既に総合計画にあったということです。</p> <p>地域コミュニティづくり推進プロジェクト</p> <p>地域コミュニティづくり = 住民自治のしく</p>

		<p>みづくり</p> <p>地域住民が相互に支え合い、豊かさを実感できる地域社会の実現を目指して、自分たちの地域のことは自ら考え、決定し、責任を持って行動できる個性ある地域づくり</p> <p>具体的には平成 15 年から動いておりましたが、前面に出しましたのはご指摘の部分もあるかもしれません。</p> <p>約 4000 万円ほど区長に払っていた部分を報酬と別の使い道に振り分け、有効利用していただくように実行しているのが自治組織です。過渡期なので色々な意見が出るのは当然だと思います。1 年間実行しながら制度をより綿密に行っていくという考えかたです。</p> <p>市は後方支援として資金援助を行います。今ある予算をどのように分配すればいいか創意工夫をしながら行っています。</p> <p>もうひとつは、行政改革を行い、無駄を省いて市民の方に振り向けていくということです。</p> <p>福祉の分野は高齢化が進み対象者が増加しているため、予算は増加傾向にあるため、これを補うため絶えず制度の見直しを行っています。</p>
	<p>少子高齢化は、全国的な問題である。世界的不況の中で少子化がより一層進行すると思われる。少子化対策が実施されたら、歯止めを掛けることができる。太宰府市の子育て支援策は。</p> <p>桜町区内で、老々介護に対する不安の声が聞かされた。老後の安心は大切である市としての支援策、対応策を聞かせてほしい。</p>	<p>子ども達が安心して住めるまちづくりが大切と考えています。平成 18 年度に一定の設備投資が終わり、今後は、福祉と教育の分野に軸足を置いて行政運営を行っていきます。</p> <p>いきいき情報センターの中に子育て支援センターに職員を配置し、また公民館での子育てサークル活動を支援していくなどが「福祉でまちづくり事業」で行っているものです。安心して子育てできる支援しています。</p> <p>高齢者支援については、生きがいづくりや介護予防教室、外出支援などにより、元気を保っていただき、安心して住み慣れた地域で生活していただくようサポートします。</p>

		<p>マミーズまほろば号も、そのような高齢者サポートの一つとして始め、好評です。筑紫地区内でも太宰府市が劣ることなく、背伸びしてでも行っていきたいと思います。</p>
<p>意見 2</p>	<p>昭和 25 年 11 月から 4 m 道路幅員が無いと家は建築できないはずなのに、未だに道路幅員が狭いの両側に家が建っているところがかなりある。車が離合できないとロスが大きく交通事故も発生する。これは職員が見過ごしている、法律を守っていないのではないか。アパートが建設されるときに、「(前面道路の幅員が) 4 m 無い、ゴミ置き場もないのに(建築確認をしている)」など市にクレームを言ったら、説明した職員は放言も甚だしく、対応が悪かった。減俸にすべき。</p>	<p>(市長)</p> <p>4 m 未満の道路は、多くあります。家を建築する際に、セットバックによりお願いしています。身近な道路は、実費をお支払いしながら 4 m になるようお願いしています。</p> <p>職員の態度について、市民の皆様には嫌な思いをさせることは間違っていると思いますので指導はしていきたいと思います。</p> <p>(画面説明)</p> <p>地域再生交付金の活用について</p> <p>地域再生交付金を活用して、既存団地の側溝及び道路の整備をバリアフリーの観点から計画的に実行する。</p> <p>地域再生(道整備交付金)事業の一部として市道 35 路線の整備を H19~23 年度の 5 ヶ年で計画的に実施する。</p> <p>適用された支援措置</p> <p>道整備交付金</p> <p>5 年間(平成 19 年度~平成 23 年度) 1,300,000 千円 高雄中央通線 五条口-榎寺線 関屋・国分寺線 小柳線 松川・北谷線 水城・口無線 関屋・向佐野線他</p> <p>簡素で効率的な市政運営の推進</p> <p>財政改革を推進し、平成 19 年度決算の経常収支比率を 98.0%に、また平成 24 年度には 89.0%を目途に改善する。</p> <p>平成 17 年度市債残高 24,731 百万円 平成 18 年度市債残高 23,816 百万円 915 百万円 平成 19 年度市債残高 21,895 百万円 1,921 百万円 平成 20 年度末市債残高見込み 20,873 百万円</p>

		<p>1,087 百万円</p> <p>と確実に借金が減ってきている。</p> <p>市債残高には毎年約 7 億円の史跡地の買い上げ分、45 億円分(95%補助金)が含まれている。</p> <p>市は身の丈にあった借金をしながら、創意工夫し、色々な事業を行っています。</p>
	太宰府市は累積黒字か。	<p>(市長)</p> <p>はい。赤字になったことはありません。</p>
	太宰府市の住民あたりの職員数は全国平均何位か。少なめに採用して、派遣切りされた人を雇うシステムのほうが人件費は下がるのではないか。夕張市は職員数 300 人が 80 数名になった。それでやっていけている。太宰府市も現在の 1 / 3 で十分でないか。	<p>(市長)</p> <p>職員数も減少しておりますし、ラスパイレス指数も減っております。職員給与をカットするような考えはなく、生産性を高めていきたいと思えます。無駄なことはしていないことは明言しておきます。給与についても広報の中で工夫しながら、お知らせしていきます。</p>
	みなし道路は、中心点から 2 m ないと家が建てられなかったことが、職員が何もしなかったために、今重荷になっている。何もしない職員は排除すべき。	<p>(市長)</p> <p>謙虚に受け止めます。</p>
意見 3	自治会制度は、市民にボランティアを強いるのか。補助金は将来打ち切るのではないか。	<p>(市長)</p> <p>決してそうではありません。区長報酬を含めて 5000 万円ほど現在支出しておりますが、市がそれを他に使うことはありません。</p> <p>如何に今以上に有効に使うことが出来るかを含めて自治会制度を考えております。区長報酬は区の収入に一旦入れてもらって、その中から支出していただきます。</p> <p>区民の皆さんに(区長報酬が)いくらなのかきちっと知ってもらい、残りは地域のために使</p>

		<p>っていただき、何に使うのかも地域で決めていただきます。</p> <p>今後財政状況が厳しくなったからしないということはありません。</p>
	<p>定額給付金は、いつ貰えるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>現在準備を進めておりまして、年度内に出来る方向で行きたいと考えております。システムを構築する時間がかかれば、必然的にずれ込みます。内需拡大に向けて努力したいと考えます。</p>
	<p>太宰府市は、合併はあるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>話がない訳ではありません。消防、ゴミ、火葬場など実際4市1町で行っている状況です。住民が声をあげていただくことも重要です。</p>
	<p>市民図書館をよく利用するが、新聞が各誌1部ずつしかない。2～3部置けないか。販売店に言えば多めに貰えるのではないか。閉館時間が早い。延長できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>実態を考えて行きたいと思います。</p> <p>開館時間については、慎重に考えて行きたいと思います。管理費用を考慮しながら創意工夫します。弓道場などは、利用者による自主運営により時間延長しております。</p>
意見4	<p>高齢化率は何故高いのか分析したことはあるのか。高齢者が多いと歳入が減る。何か対策はないのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>色々な要因はありますが、市は、史跡地が15%あり、「歴史とみどり豊かな文化のまち」です。このため、場所により高層ビルなどの高度制限をしており、戸建住宅が多い状況です。</p> <p>2世代の入れ替わりを図るなど色々施策は必要ですが、低層住宅の施策は変わりません。</p> <p>他市に比べて年金額等は高い所得となっています。今まで貢献していただいた先輩の皆さんですので、外出支援を含めて力を入れて高齢者支援を行っていきたいと思います。</p>

	<p>後期高齢者の自分が言うのもおかしいが、綺麗事ばかりでは、財政が破綻するのではないか。</p>	<p>(市長) 太宰府市が破綻するときは、皆破綻すると思います。将来の財政計画を見越して財政運営を行うのは私の役目と思っています。</p>
	<p>市長が 30 年変わらなければいいが。</p>	<p>(市長) 行政は継続します。</p>
意見 5	<p>高度制限を撤廃してはどうか。 若い人口が入ってくれば、収入は増える。そうした方が、購買力も上がり、ゆとりある行政が出来るのではないか。</p>	<p>(市長) 見解の相違かもしれませんが、市の 1300 年の歴史が織り成す景観を後世に伝えていく責任があります。全部だめな訳ではなく、用途によっては可能です。</p>
意見 6	<p>二日市東口が整備されたことで、車が多くなった。小学生、中学生が通学するのに踏切そばの市道に信号と横断歩道を要望したがどうなっているのか。警察からも市を通すほうがいいと言われた。</p>	<p>(市長) 地区道路整備事業で道を整備しました。信号が必要な所はあると思います。 現場を確認して、公安委員会に対して要望して行きたいと思います。</p>